

子どもの様子	ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> 3月後半新しい部屋で過ごす。個々により不安定な子もいるが大きな戸惑いはなく過ごしている。進級を楽しみにしている子もいる。部屋ではコーナーを作ったことで落ち着いて遊ぶことができた。身の回りのことは個人差はあるが自分で行うとする姿が多くなる。友達との関わりを楽しむがトラブルもまだ多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れ喜んで登園し、保育士や友達と一緒に遊びを楽しむ。 生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。 春の自然に触れ戸外で元気に遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 3日(月) 進級式 14日(金) 身体測定 避難訓練 25日(火) 視聴覚検査 27日(木) 誕生会 	<ul style="list-style-type: none"> 人数も少なく落ち着いて過ごせた。リーダーとサブの動きが定まっていき連携をとることができた。戸外に出る機会を多くもて、春の自然に触れたり、簡単なルールのある遊びを楽しむことができた。生活の仕方少しづつわかってきたが個人差が大きい。

内容		環境構成	保育士の配慮	取り組みの状況と保育士の振り返り
生命・情緒 健康・人間関係・環境・言語・表現 養護・教育	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの気持ちを受け止め、共感しながら子どもとの信頼関係を築いていく。 一人ひとりが健康で安全に過ごせるようにする。 生活の流れや仕方がわかり、身の回りの事ことを自分でしようとする。 環境の変化や、寒暖差などから体調を崩しやすい時期なので一人ひとりの健康状態に気を付ける。 戸外でおもいきり体を動かして遊ぶ。 保育士や友達と一緒に好きな遊びを楽しむ。 新しい担任、新しい友達に親しみをもつ。 春の虫や小動物、植物に関心をもち、見たり触れたりして楽しむ。 生活や遊びに必要な言葉や挨拶を親しみをもって交わす。 自分の思いや感じたこと、して欲しいことを、言葉で伝えようとする。 絵本や紙芝居など見たり聞いたりして楽しむ。 季節の歌を歌ったり、曲に合わせて体を動かしたり、手遊びを楽しむ。 身近な素材や用具を使い、のびのびと描いたり、作ったりすることを楽しむ。(折り紙・クレヨン・のり・絵の具を使った製作など) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の場所がわかるようにマークをつけたり、室内の物が使いやすい配置になっているか、子どもの動線を考える。 生活の流れをわかりやすく伝える。 温度や湿度の管理を行い快適に過ごせるようにする。 戸外に出る機会を多くもち、簡単な集団遊びなどで体を動かせるようにする。 遊びやすく整理しやすいようなコーナー作りを考える。 春の自然に興味がわくように花を飾ったり絵本や図鑑を置く。 保育士が見本になるように生活に必要な挨拶をする。 落ち着いた雰囲気の中会話を楽しめるようにする。 子どもが見やすいよう保育士の位置を考える。 体操をする時は危険のないよう十分な空間を用意する。 花や鯉のぼりなどを目につきやすい場所に置きイメージがわくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもの気持ちを受け入れ、温かく見守りながら安心して過ごせるようにする。 生活の様子を見守り個々に合わせた援助をする。認めたり励ましたりし、自分でできたという自信につなげていく。 保護者から様子を聞いたり連絡ノートを通して個々の体調を把握する。 興味のある玩具や遊びを用意し保育士も一緒に遊び楽しさを知らせていく。 戸外に出る機会を多くもち、春の自然に触れ合えるようにする。子どもの思いや気づきに共感する。 子どもが言葉で伝えようとするときはじっくりと聞き、言葉を引き出していく。 季節に合った話しや歌を用意する。 製作ではわかりやすく手順や用具の扱い方を知らせる。個々の作品を認める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境や担任に慣れ、大きな戸惑いはなく過ごすが、個々によっては不安定な様子が見られたり、切り替えがなかなかできない姿が見られた。気持ちを受け入れながら関わるように心掛けた。保護者とも様子を伝え合うようにした。 身の回りのことはできることが多いが、取り掛かるまでに時間がかかる。事前に着替えを準備しておくことで入室の流れはスムーズになった。これからも子ども達が取り掛かりやすいように工夫していきたい。給食後は椅子に座ることで落ち着いて本を読んで過ごしている。食後の歯磨きを模型を使うことで興味を持ち行っていた。 戸外に出る機会を多く持つ事ができ、春の自然に触れたり、身体を動かして遊ぶことができた。運転手さんに一緒に散歩にいらしてもらうことでとても助かった。 後半新入園児が入園し関わりを楽しんでいる姿が見られた。 季節に合った話を読むよう心掛けた。 製作では、個々の表現を認め楽しんで行えるようにした。
	<ul style="list-style-type: none"> 楽しい雰囲気の中で、友達や保育士と一緒に食事をする。 箸やスプーンの持ち方、食器の持ち方を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> テーブルや椅子の位置を工夫する。 個々の様子に応じてフォークなども用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた雰囲気の中、会話をしながら食事ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手な物は減らしたり、無理強いすることなく、また保育士も一緒に会話をしながら楽しく食べられることを考慮した。フルーツを自分でとるようになり、できない時は一緒に行った。

地域とのかかわり	家庭との連携
<ul style="list-style-type: none"> 散歩先で近隣の方に挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 登降園時や連絡ノートで子どもの様子を伝え、質問や心配事には丁寧に対応し、信頼関係を築いていく。 調整しやすい衣服を用意してもらう。 保護者懇談会のお知らせをする。
延長保育	
<ul style="list-style-type: none"> 新しい環境での疲れを考慮しゆったりと過ごせるようにする。 	